

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 17 日

|            |           |          |  |          |         |
|------------|-----------|----------|--|----------|---------|
| 評価対象事業     |           | 評価者      | 深沢地域整備課担当課長 山戸 貴喜                        |          |         |
| まち-07      | 重点事業      | 深沢地域整備事業 | <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 | 主管課      | 深沢地域整備課 |
|            | まち・ひと・しごと |          | <input type="checkbox"/> 法定受託事務          | 関連課      |         |
| 総合計画上の位置付け | 分野        | 市街地整備    | 施策の方針                                    | 市街地整備の推進 |         |

1 事業の目的

|    |                                |
|----|--------------------------------|
| 対象 | 市民等                            |
| 意図 | 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため  |
| 効果 | 全市民的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する |

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度からの繰越明許費により、深沢地域整備事業のまちづくりのテーマである「ウェルネス」の具現化を図るため、コンセプトの深掘りを行うとともに、民間企業へのヒアリング等を踏まえ、コンセプトに沿ったまちづくりの実現に向けた検討を行った。</li> <li>・平成30年度に実施した深沢地区まちづくり方針実現化の検討結果を踏まえ、修正土地利用計画(案)の再点検結果に基づく事業フレームの調整検討については、工程の見直しを行うことにより、実施しなかった。交通管理者調整協議については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越を行った。</li> <li>・土地区画整理事業の専門家の支援を受け、権利者の相談窓口設置及び事業スキームに係る合意形成を図るとともに、事業推進に伴う関係機関協議等を行った。</li> <li>・深沢地域整備事業用地の維持管理を行った。</li> <li>・藤沢市と共同で実施する、シンボル道路及びシンボル道路橋に係る概略設計業務等に対し、負担金を支払った。</li> <li>・湘南地区整備連絡協議会の運営を行った。</li> <li>・村岡新駅(仮称)設置協議会及び慶應義塾大学SFC研究所xSDGコンソーシアムに参加した。</li> </ul> |
|---|

3 事業費等基礎データ

| データ区分   | 30年度(2018年度)決算 |          | 01年度(2019年度)決算 |               | 02年度(2019年度)当初予算 |          | 備考                   |
|---------|----------------|----------|----------------|---------------|------------------|----------|----------------------|
|         | 人 口            | 世 帯 数    | 人 口            | 世 帯 数         | 人 口              | 世 帯 数    |                      |
| 人口等のデータ | 176,308人       | 81,763世帯 | 176,436人       | 82,444世帯      | 176,608人         | 83,058世帯 | ・各年3月31日<br>(住民基本台帳) |
| 事業の対象者数 |                |          |                |               |                  |          |                      |
| 運営資源状況  | 決算値(千円)        | 26,139   | 54,232         | 当初予算(千円)      | 138,153          |          |                      |
|         | 国県支出金          |          | 2,281          | 国県支出金         | 2,750            |          |                      |
|         | 地方債            |          |                | 地方債           |                  |          |                      |
|         | その他            | 29,699   | 39,102         | その他           | 34,258           |          |                      |
|         | 一般財源           | -3,560   | 12,849         | 一般財源          | 101,145          |          |                      |
|         | 人員配置数          | 8.9      | 9.9            | 人員配置数         | 10.8             |          |                      |
| 事業費運営   | 人件費(千円)        | 69,183   | 78,985         | 人件費(千円)       | 86,809           |          |                      |
|         | 総事業費(千円)       | 95,322   | 133,217        | 総事業費(千円)      | 224,962          |          |                      |
|         | 市民1人当りの経費(円)   | 541      | 755            | 市民1人当りの経費(円)  | 1,274            |          |                      |
|         | 対象者1人当りの経費(円)  |          |                | 対象者1人当りの経費(円) |                  |          |                      |

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

|                     |   |  |
|---------------------|---|--|
| 効 率 性               | 事業費に削減余地はないか  | 2. ない  |
|                     | 関連・類似事業との統合はできないか   | 3. 統合できない  |
| 妥 当 性               | 事業の実施に対する市民ニーズはあるか  | 3. 変わらずにある   |
|                     | 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか<br>今後も市が実施すべき事業か  | 3. 廃止・休止による影響は大きくある<br>5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある  |
| 有 効 性               | 事業の成果は得られているか   | 2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である  |
|                     | 事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか  | 3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している  |
| 公 平 性               | 受益者負担は公正・公平か  | ○-2. 適正な受益者負担を導入している   |
|                     | 協 働: 市民等と協働して事業を展開しているか   | ○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である<br>協働実施済の場合のパートナー 自治町内会、商店会                              |
| 事業内容の方向性            | <input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →<br><input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする<br><input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する<br><input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →  | 見直しの種類<br><input type="checkbox"/> 拡大<br><input type="checkbox"/> 縮小<br><input type="checkbox"/> その他 |
|                     | 事業内容・予算規模の方向性設定の理由<br>・神奈川県、藤沢市、鎌倉市での基本合意に基づき、土地区画整理事業の着手、藤沢市村岡地区と鎌倉市深沢地区を連絡する橋の整備、新駅設置費用を負担していく必要があるため。  | 事業へ統合  |
| 予 算 規 模 の 方 向 性     | <input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する<br><input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする<br><input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する   |  |
| 総 評 (評価に対する考え方、根拠等) | 今後、事業の進展により基盤整備や土地利用、機能導入の誘導に係る事業費の増加が必要となり、関連・類似事業との統合はできない。深沢地域整備事業は、第3期基本計画・後期実施計画の重点事業であり、鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図る事業である。平成30年(2018年)3月末には、深沢地域への市役所移転を決定したことから、廃止・休止すれば市民生活への影響は多大となる。事業スキームの見極めに時間を要し事業スケジュールに変更が生じているものの、令和3年度(2021年度)の都市計画決定を目指し準備を進めている。将来のまちづくりに向けた方向性を見定め、上位施策に向けた貢献度は3とした。今後も、藤沢市村岡地区、鎌倉市深沢地区のまちづくりと村岡新駅(仮称)設置に関する合意書に基づき、関係者との協議を重ね、都市計画決定を目指した準備を進めていく。 |  |

|  |  |
|--|--|
| <p>令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・深沢地区のまちづくりのコンセプト「ウェルネス」の実現のため、国の政策との連携及び神奈川県が進めている「ヘルスケア・ニューフロンティア政策」、「未病の改善」との連携・一体化をさらに進める必要があるため、引き続き連携して取り組む。</li> <li>・まちづくりコンセプト及び実現化施策、まちづくり推進体制の構築については、さらなる検討が必要であるため、引き続き検討を行う。</li> <li>・産業誘致等、官民連携による出口戦略の実現性については、時間をかけた検討が必要であるため、引き続き検討を行う。</li> <li>・市民の事業への理解と権利者の合意形成に向け、引き続き取り組む。</li> <li>・村岡新駅(仮称)に係る概略設計を実施し新駅設置の実現性について検証する。</li> <li>・未利用地が残存しているため、市所有の用地の有効活用について検討していく。</li> </ul>  |
| <p>課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年(2019年)5月15日付けで、神奈川県、藤沢市、鎌倉市、湘南ヘルスイノベーションパーク、湘南鎌倉総合病院の5者で覚書を締結し、村岡・深沢地区におけるヘルスイノベーション最先端拠点形成等の推進に向けた検討を行った。</li> <li>・深沢地域整備事業のまちづくりのテーマ「ウェルネス」の具体化を図るため、「鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会」を発足し、コンセプトの深掘りを行うとともに、コンセプトに沿ったまちづくりの実現に向けた検討を進め、令和2年(2020年)3月に同委員会から答申を受けた。</li> <li>・令和2年(2020年)2月に企業連絡会説明会を開催し、企業とまちづくりのコンセプト等を共有した。</li> <li>・権利者向けの情報紙「深沢まちづくりだより」を1回発行し、権利者宅を戸別訪問することにより、意向把握など丁寧な対応に努めた。</li> <li>・深沢地区内権利者全体会を2回開催し深沢地域整備事業の取り組み状況等を権利者に説明した。</li> <li>・深沢まちづくりニュースを3回発行し、権利者をはじめ市民等に事業の取組み状況の周知に努めた。</li> <li>・神奈川県、藤沢市、鎌倉市及び東日本旅客鉄道株式会社で村岡新駅(仮称)の概略設計に係る協定を締結した。</li> <li>・未利用だった市所有の用地について新規に活用を開始し、有効活用を図った。</li> </ul> |
| <p>未解決の課題、新たな課題とその理由</p>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・深沢地区のまちづくりのコンセプト「ウェルネス」の実現のため、国の政策との連携及び神奈川県が進めている「ヘルスケア・ニューフロンティア政策」、「未病の改善」との連携・一体化をさらに進める必要があるため、引き続き連携して取り組む。</li> <li>・景観や建物のルールを定め、将来のまちづくりの指針となる深沢地区まちづくりガイドラインの策定に向けて検討を行う。</li> <li>・産業誘致等、官民連携による出口戦略の実現性については、時間をかけた検討が必要であるため、引き続き検討を行う。</li> <li>・市民の事業への理解と権利者の合意形成に向け、引き続き取り組む。</li> <li>・村岡新駅(仮称)に係る概略設計を実施し新駅設置の実現性について検証する。</li> <li>・市所有の用地の有効活用について検討していく。</li> </ul>  |

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

|                      |   |       |      |     |      |      |      |     |  |
|----------------------|---|-------|------|-----|------|------|------|-----|--|
| 比較事項                 | 施行中の土地区画整理事業のうち、公共団体等施行の地区数割合(下段は施行実績)  |       |      |     |      |      |      |     |  |
| 団体名                  | 鎌倉市   | 藤沢市   | 茅ヶ崎市 | 寒川町 | 平塚市  | 秦野市  | 大和市  | 綾瀬市 |  |
| 他市実績                 | 0   | 2/2   | 0/1  | 1/2 | 0/2  | 1/1  | 1/1  | 1/1 |  |
|                      | 1/2   | 14/48 | 2/9  | 2/3 | 4/11 | 3/22 | 3/17 | 1/6 |  |
| 当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業は、道路・公園等の都市施設を整備する最適な事業手法であり、他市において高い実績を上げている。</li> <li>・本事業においても、第3期基本計画に位置付けている鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第三の都市拠点の実現を図るためには、最適な手法である。</li> </ul> |       |      |     |      |      |      |     |  |

◎ 事業実施に係る指標

|   |   |           |           |           |           |           |   |
|---|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---|
| 指標の内容   | 事業の進捗度  | 単位        | %         | 指標の傾向     | ↗         | 備考        |   |
| 当該指標を設定した理由                                     | 年次  | H26(2014) | H27(2015) | H28(2016) | H29(2017) | H30(2018) | R01(2019)   |
| 深沢地域整備事業の都市計画決定を令和3年度(2021年度)に行う。               | 目標値   | -         | -         | 25.0      | 50.0      | 75.0      | 100.0   |
| 実績値   | -   | -         | 25.0      | 50.0      | 75.0      | 80.0      | R28(2016)修正土地利用計画(案)の策定<br>R29(2017)土地区画整理事業の再構築<br>R03(2021)都市計画決定                   |
| 達成率   | -   | -         | 100.0%    | 100.0%    | 100.0%    | 80.0%     |   |
| 指標の内容   | 深沢まちづくりだよりの発行(西側権利者へ深沢地域整備事業の周知)  | 単位        | 回         | 指標の傾向     | ⇒         | 備考        |   |
| 当該指標を設定した理由                                     | 年次  | H26(2014) | H27(2015) | H28(2016) | H29(2017) | H30(2018) | R01(2019)   |
| 本事業について西側権利者の合意形成をはかるため深沢まちづくりだよりを2回/年度、以上発行する。 | 目標値   | -         | -         | -         | 2.0       | 2.0       | 2.0   |
| 実績値   | -   | -         | -         | -         | 3.0       | 1.0       | R01(2019)の目標値は2回で実績値は1回となっているが、西側権利者だけでなく広く市民等に周知する内容が多く生じたため、他に深沢まちづくりニュースを3回発行している。 |
| 達成率   | -   | -         | -         | -         | 150.0%    | 50.0%     | 50.0%   |
| 指標の内容   | 深沢地域整備事業の説明会等の開催  | 単位        | 回         | 指標の傾向     | ↗         | 備考        |   |
| 当該指標を設定した理由                                     | 年次  | H26(2014) | H27(2015) | H28(2016) | H29(2017) | H30(2018) | R01(2019)   |
| 本事業について理解を深めようとするため説明会等を2回/年度、以上開催する。           | 目標値   | 2         | 2         | 2         | 2         | 2         | 2   |
| 実績値   | 4   | 5         | 6         | 2         | 5         | 4         | 権利者全体会2回<br>企業連絡説明会1回<br>深沢地区まちづくり説明会1回   |
| 達成率   | 200.0%  | 250.0%    | 300.0%    | 100.0%    | 250.0%    | 200.0%    |   |
| 当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・深沢地域整備事業の実施には、都市計画決定、事業計画認可等の法手続き、土地区画整理事業に係る仮換地指定など、段階を踏む必要があり、工事着手までには数年の期間を要する。そのため本事業に係る情報発信を積極的に行うとともに権利者等への説明会を開催する等、周知を積極的に行い、権利者等の不安の払拭に努める。</li> </ul> |           |           |           |           |           |   |